

被災古墳の復旧に向けた取組みの現状と課題



2018年2月20日

熊本県教育庁教育総務局文化課

■ 第2回 古墳の復旧方法等に対する意見聴取委員会(2018.2.1)

○釜尾古墳及び塚原古墳群の復旧方法等について検討.

■ 塚原古墳群

□ 石之室古墳の復旧方法について.

⇒ 墳丘(整備)盛土及びコンクリート製覆屋を解体
撤去, 石棺を外部に搬出. 新たに設置する作
業小屋で修復.

□ くぬぎ塚古墳の復旧方法について.

⇒ 墳丘を極力削らず, 緑化ブロックで斜面を保護.

■ 釜尾古墳

□ H30年度発掘調査の実施を計画.

- ・コンクリート製ドームの劣化状況.
- ・コンクリート製ドームの位置と範囲.
- ・整備盛土と墳丘盛土, 及び崩落土の状況.
- ・羨道, 前室部分の盛土, 裏込めの状況.

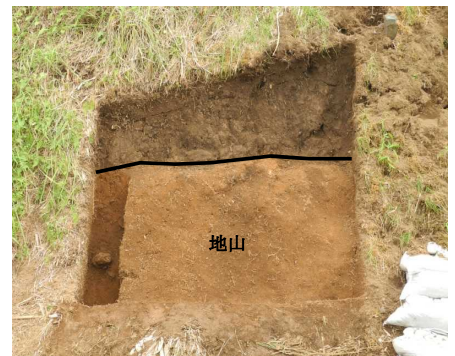
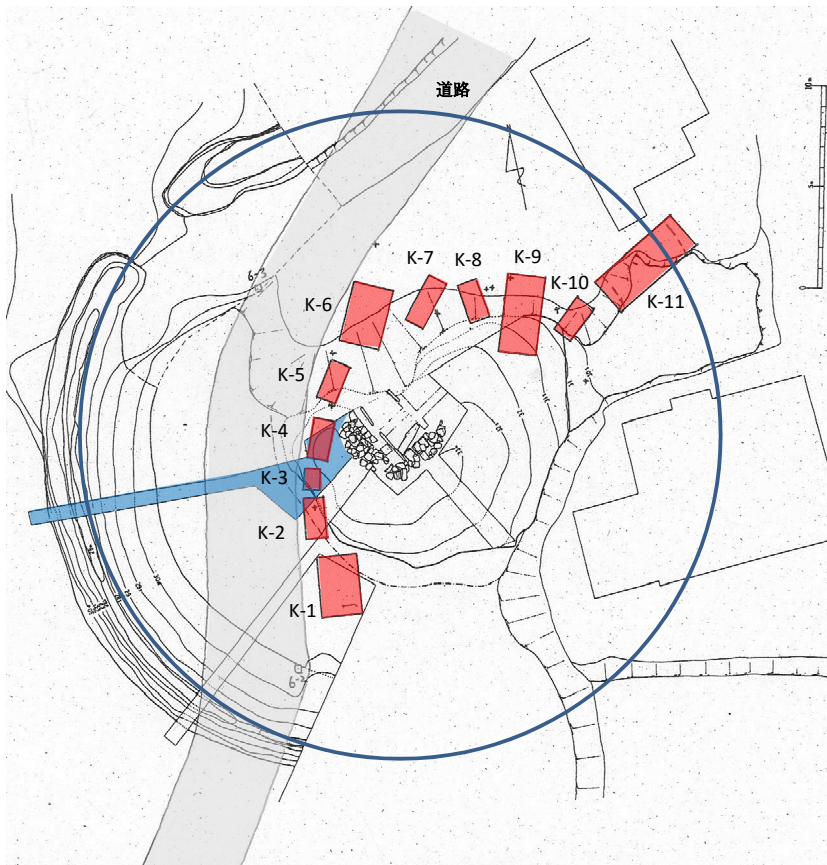


りゅうがん塚古墳



くぬぎ塚古墳

塚原古墳群(くぬぎ塚古墳)



K-5 トレンチ(写真撮影:熊本市文化振興課)



K-6 トレンチ(写真撮影:熊本市文化振興課)

国指定史跡 釜尾古墳(熊本市北区)



(写真提供:熊本市文化振興課)



羨道部西側をジャッキアップ (写真撮影:熊本市文化振興課)



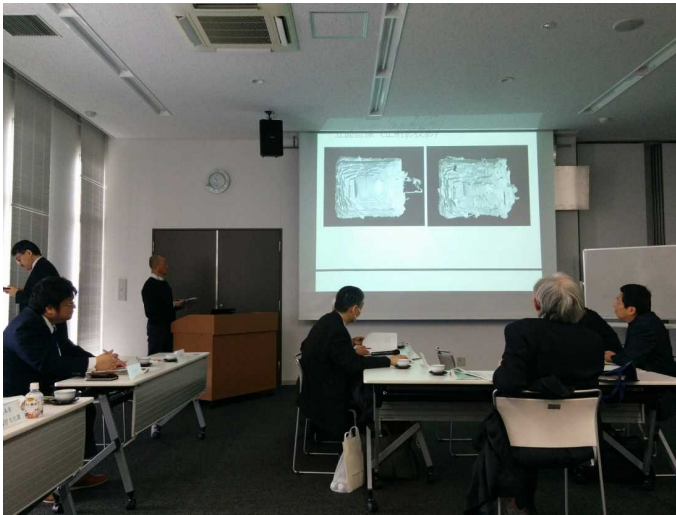
被災前 (写真撮影:熊本市文化振興課)



玄室西側の装飾ある石材が破損していることが確認。
(2018.1.19 内部確認)

(写真撮影:熊本市文化振興課)

■ 第2回 嘉島町史跡保存整備検討委員会 (2018.2.7)

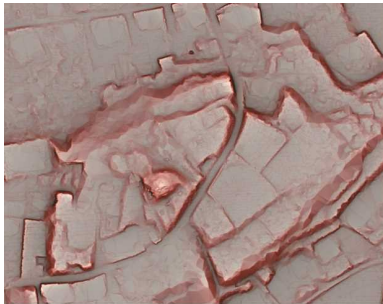


(報告) 第1回開催後に実施した調査等について

- 墳丘レーダー探査
- 石室内レーザ計測

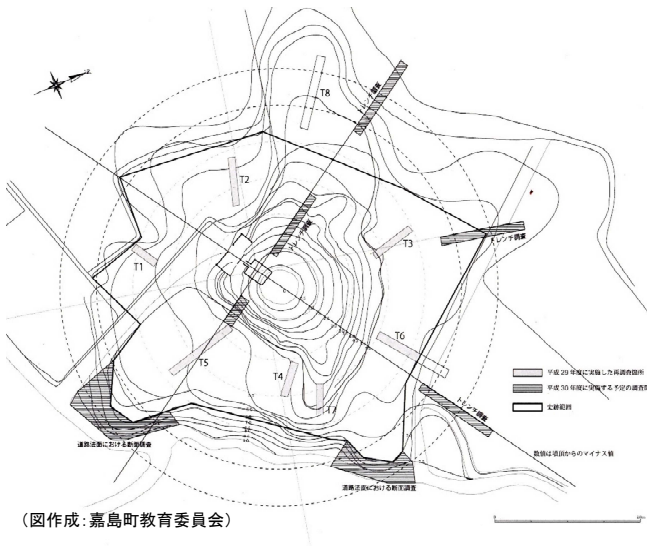
(意見交換)

- 石室への進入方法について
 - ・ 南壁、北壁が石室中央に向かって傾いている。
 - ・ 天井石の見え方が小さくなっている。
 - ☞ 天井石を外して入るのは危険。
 - 羨道部側からの進入か。
 - 但し、羨道部に流入した土砂を除去することでの石室への影響はないのか。
- 墳丘の形状調査(御船町小坂大塚古墳例を踏まえて)
 - ・ 墳丘の規模と周溝の確認が重要。
 - ☞ H30年度計画のトレンチ設定(次頁図参照)。
 - ☞ 墳丘南・北側に設定されるトレンチは、石室への影響を考慮すれば、損傷を見極めてから実施すべき。
- 墳丘南側における支持基盤について
 - ・ 墳丘の亀裂は断層に沿う(東西方向)。
 - ・ 当該地の基盤層との関係か。
 - ・ 軟弱地盤か、礫等の影響かは改めて電気探査を実施し説明。



レーザ航測で作成された赤色立体図
(提供: 嘉島町教育委員会)

国指定史跡 井寺古墳(嘉島町)



(図作成: 嘉島町教育委員会)

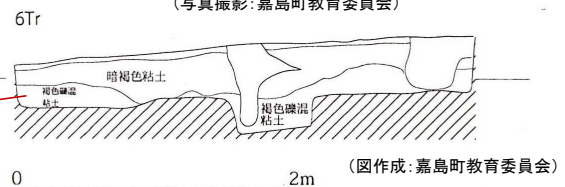


6トレンチ (写真撮影: 嘉島町教育委員会)

(参考) 上官塚遺跡



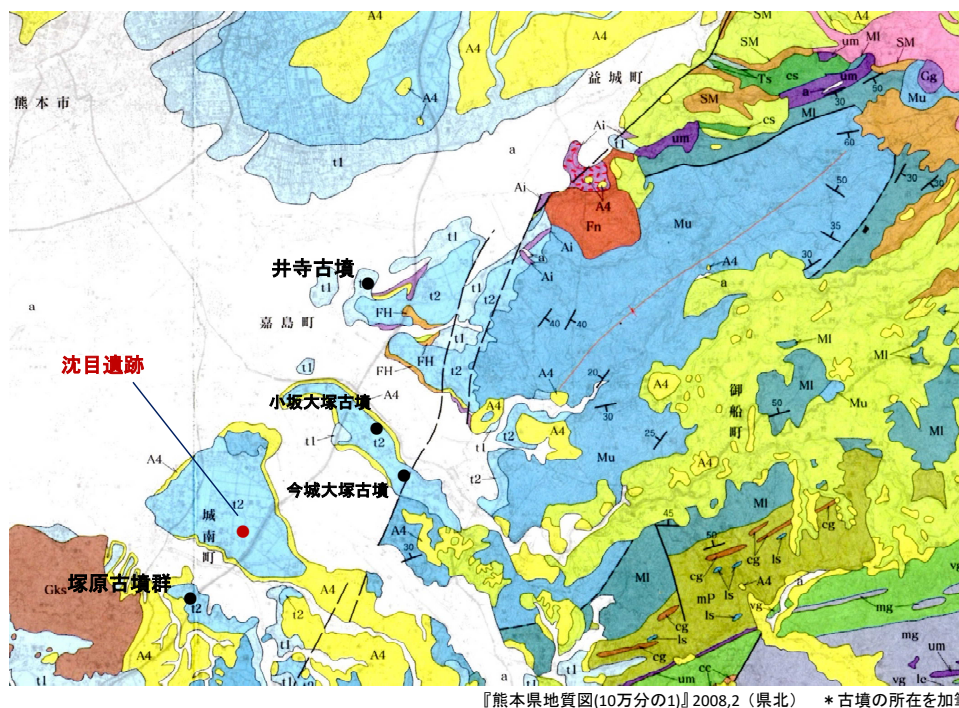
(写真撮影: 嘉島町教育委員会)



(図作成: 嘉島町教育委員会)

- 砂っぽく、ジャリジャリした土質。風化礫を含む。
- *「黄褐色ローム層」に比べ、粘性が弱く、軟らかい。

井寺古墳周辺の地質図



- 井寺古墳 低位段丘堆積物(保田窪砂礫層)
 - 小坂大塚古墳
 - 今城大塚古墳
- 中位段丘面堆積物(託麻砂礫層)

(参考) 小坂大塚古墳(御船町)

* 中位段丘堆積物(託麻砂礫層)

ニガシロ
黄褐色粘質土

褐色～淡褐色粘質土

○ 上部は砂っぽく、ジャリジャリした土質。
・ 下部では風化礫を含む。
・ 上層の黄褐色ロームに比べ、粘性は弱く、軟らかい。

■ 中位段丘堆積物(託麻砂礫層)
塚原古墳群

* 黄褐色粘質土以下の土層堆積は、沈目遺跡と類似。

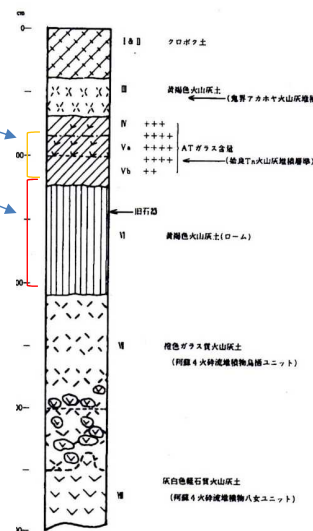
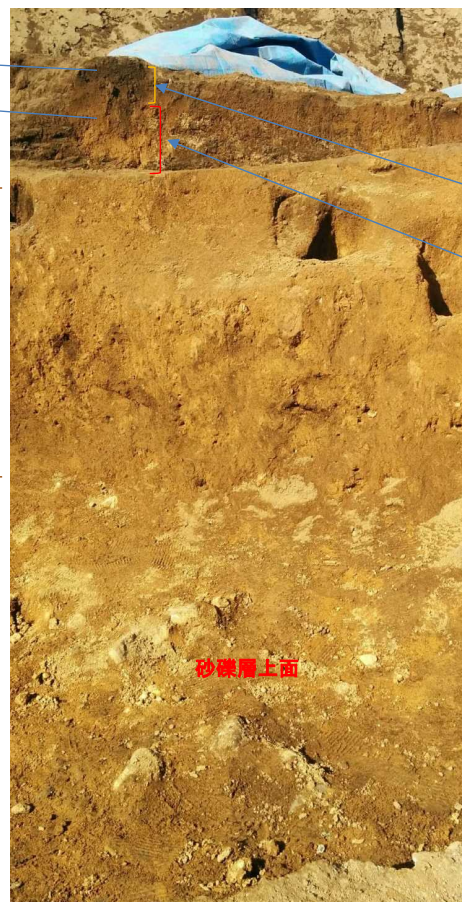


図1 曲野遺跡の遺物包倉層

■ 領家帯
主として泥質岩(片麻岩・結晶片岩)
(肥後変成岩類)

東大大石研究室による3D計測 (H30.1.29-30)



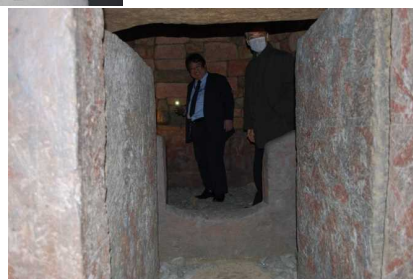
オブサン古墳 (山鹿市)



井寺古墳 (装飾古墳館レプリカ)



井寺古墳 (美術館レプリカ)



天神山古墳 (宇土市)



(図作成: 宇土市教育委員会)

- 平成28年熊本地震により、天神山古墳前方部の墳丘が一部崩落し、同じく6月の豪雨により後円部墳丘の一部も崩落。
- 法面の復旧や防災工事を行うにあたって主体部(未調査)を傷つけないよう、主体部の位置を確認するため、地中レーダー探査を実施(平成29年8月8日(火)～10日(木))。



(写真撮影: 宇土市教育委員会)



(写真撮影: 宇土市教育委員会)

1日も早い復旧と創造的な復興を
目指して総力を挙げて取組んで参ります。



今後とも、ご支援よろしく申し上げます。
